

作成年月日 2024年12月20日

社会福祉法人 あづみの森  
尾道発達相談・療育支援センターあづみ園  
放課後等デイサービス  
支援プログラム



〒722-0042 広島県尾道市久保町1811番地

TEL : 0848-38-7334

FAX : 0848-38-7335

## 概 要

### 社会福祉法人 あづみの森

#### 尾道発達相談・療育支援センターあづみ園

##### ○放課後等デイサービス

- ・定 員：10名
- ・営 業 日：月曜日～金曜日・第1土曜日・第3土曜日
- ・営業時間：10：00～18：30（平日）  
8：30～17：00（土曜日・長期休業中）
- ・療育時間：14：30～17：30（平日）  
9：00～15：00（土曜日・長期休業中）
- ・送迎実施：あり（要相談）
- ・療育内容：集団療育（日常生活訓練・集団適応訓練・機能訓練・レクリエーションなど）  
保護者学習会 他

##### ○日中一時支援事業

- ・定 員：10名
- ・営 業 日：月曜日～金曜日・第1土曜日・第3土曜日
- ・営業時間：10：00～18：30（平日）  
8：30～17：00（土曜日・長期休業中）
- ・療育時間：9：00～14：30（平日）  
15：00～17：00（土曜日・長期休業中）
- ・送迎実施：あり（要相談）
- ・療育内容：日常生活支援  
健康管理  
日中活動支援  
相談及び援助

# 「あづみ園」の設立理念

## (1) 早期診断・早期療育

脳の発達に様々な可能性のある早い時期に、障害を発見し、個々の子どもにあった療育プログラムを作成し、療育を提供します。

## (2) 親と子の健全な関わりへの協力

障害をもつ子どもと、その子を育てる親が良い関係を築けるように、定期的に学習会を計画し、子育てを楽しく出来るようにサポートしていきます。

## (3) インクルージョン理念の実現

本園と地域の保育所（園）、幼稚園、認定こども園との併行保育を利用しながら、地域の子ども達が地域で育ち、育てられるように、また、最終的に地域の学校で学べるようにと取り組んでいる児童発達支援（あづみ園）の療育を引き継ぎ、日々活動します。

## 支援方針

- 児童に対して早期の発達支援、家庭連携、学校連携を行うことで、学校、地域など社会での児童の適応する力を高めます。
- 自分自身、周囲、環境にとって相互に円滑な関係が築けるよう、より社会的かつ適応的なスキル（＝ソーシャル・スキル）を身につけられるよう支援を行います。
- 個々の得意なことと苦手なことの把握（＝アセスメント）に努め、得意なことを伸ばし、苦手なことをどう克服していくのかを本人、家族と一緒に考えていきます。

## デイリープログラム

時刻	プログラム	
	平日	土曜日・長期休業中
9:00~	—	登所・自由時間
10:00~	—	机上活動
10:30~	—	始めの会 設定活動①
11:40~	—	昼食
12:20~	—	自由時間
13:15~	—	設定活動②
14:10~	—	おやつ
14:30~	登所・自由時間	振り返り
15:00		降所
16:10~	始めの会 設定活動	—
17:00~	おやつ	—
17:15~	振り返り	—
17:30	降所	—

## 主な療育内容

○ソーシャルスキル・トレーニング（SST）の実施。

集団生活を円滑に送るために必要な技能（ソーシャルスキル）を獲得できるように、色々な活動を通して支援していきます。また、獲得したスキルを日常生活や学校などの様々な場面でも使えるようになることを目指していきます。

○身の回りの生活自立機能を高める。

日常生活動作の機能向上を図っていくと共に、色々な生活体験を通して“やってみよう”“できた”を積み重ねながら社会的自立を目指していきます。

○余暇・交友関係の充実を図る。

色々な遊びを提案する中で、楽しめる遊びや興味を持てる遊びを増やし、余暇の時間の充実を図ります。また、人と関わる中で他者理解を深め、友好関係がスムーズに築けるように支援していきます。

5領域	支援内容
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"><li>・来所時に体温測定に加え、表情や顔色を見ながら、健康観察を行い健康状態の確認をする。</li><li>・自分の健康状態を知り、視覚物などを利用しながら意思表示出来るようにしていく。</li><li>・基本的な生活スキルの向上を図り、自分で出来る事を増やす。 食事：長期休業中の昼食時間を使って、食具の使い方や偏食、好き嫌い、食事のマナーなどについて支援していく。 排泄：時間誘導や排泄後の後始末など個々に取り組みを行う。 着脱：来所後の着替えや着脱後の服の畳み方など、個々に取り組みを行う。</li></ul>
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"><li>・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善や習得を図る。</li><li>・粗大運動や微細運動の活動を取り入れ、ボディイメージの形成や身体の使い方、力加減など、技能の向上を目指す。</li><li>・保有する感覚を十分に活用できるように、活動を通して支援を行う。</li></ul>
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"><li>・発達段階に合わせたグループ活動を行う中で、個々の特性・理解度に応じた支援を行い、「できた」「分かった」を積み重ねながら認知機能の発達を促す。</li><li>・個別・集団活動の中で、情報の取得がしやすいように視覚物（目で見て分かる物）を使用し、自らの行動に繋がられるように支援する。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>物事の受け取り方や考え方を知らせ、気持ちや行動のコントロールが出来るように支援を行う。</li> </ul>
言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発達に合わせたコミュニケーション手段（ジェスチャー、絵カード、言葉など）の獲得を目指すと共に能力の向上を支援する。</li> <li>具体的な物事や体験等と言葉の意味を結び付ける等により言語の習得や自発的な発声を促すように支援する。</li> <li>多様なコミュニケーション手段を活用し、より円滑なコミュニケーションが図れるように支援する。</li> </ul>
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分について（性格や行動の特徴など）理解を深めると共に、気持ちや情動のコントロールが出来るように支援をする。</li> <li>社会の中で、自分とは異なる考えや価値観があることを知り、その中でどう関係性を築いていくのかを学べるように支援する。</li> <li>人と関わる上でのルールやマナーを学習した上で、遊びや集団活動に参加出来るように支援する。</li> </ul>

## ご家族・地域との連携

### ＜家族支援＞

#### ○ご家庭との連携

- 家庭訪問や懇談を通して、保護者との連携を図ります。
- 送迎やお迎えの時間、連絡帳などを活用して子育て（きょうだい児含）に関する困り事への相談に応じます。また、必要に応じて、関係機関との連携・情報提供などを行います。

#### ○保護者学習会の開催

- 『保護者学習会』を開催し、児童の特性に応じた関わりを学ぶ場を提供すると共に、家庭での取り組みや関わりについての助言・支援を行います。
- 保護者同士の交流や個々の家庭での困り感や経験者ならではの話を聞く機会を設け、将来への見通しを持って子育てが出来るように応援していきます。
- 学習会計画

	内容
5月	1. 他者紹介・自己紹介 2. ミニ講義「大人と子どもの悪循環を好循環に」 3. 質疑・応答 4. 宿題説明
6月	1. ウォーミングアップ（子どもの良い所探し） 2. 宿題報告 3. ミニ講義「子どもの行動の観察と理解」 4. 質疑・応答 5. 宿題説明

7月	1. ウォーミングアップ（子どもの良い所探し） 2. 宿題報告 3. ミニ講義「子どもの行動への良い注目の仕方～行動の3つのタイプ分け～」 4. 質疑・応答 5. 宿題説明
8月	1. ウォーミングアップ（子どもの良い所探し） 2. 宿題報告 3. ミニ講義「親子タイムと上手なほめ方」 4. 質疑・応答 5. 宿題説明
9月	1. ウォーミングアップ（子どもの良い所探し） 2. 宿題報告 3. ミニ講義「子どもが達成しやすい指示の出し方」 4. 質疑・応答 5. 宿題説明
10月	1. ウォーミングアップ（子どもの良い所探し） 2. 宿題報告 3. ミニ講義「上手な無視の仕方（ほめるために待つ）」 4. 質疑・応答 5. 宿題説明
11月	1. ウォーミングアップ（子どもの良い所探し） 2. 宿題報告 3. ミニ講義「なくしたい行動とリセットセッティング（警告＝限界を設定する） 「トークンシステム～ルール作りと達成感のために～」 4. 質疑・応答 5. 宿題説明
12月	1. ウォーミングアップ（子どもの良い所探し） 2. 宿題報告 3. ミニ講義「トークンシステム～ルール作りと達成感のために～」 4. 質疑・応答 5. 宿題説明
1月	1. ウォーミングアップ（子どもの良い所探し） 2. 宿題報告 3. 「家庭で工夫できることを考えてみよう」 4. 質疑・応答

## <地域支援・地域連携>

- ・児童に関わる関係機関と共通した支援目標やゴールイメージを持てるように必要に応じて連携を行います。
- ・尾道市との定期的な情報共有や地域の自立支援協議会へ積極的に参加し、市及び地域の関係機関との連絡体制を確保します。

## <職員の質の向上>

- ・全国的に著名な大学の先生、各専門分野の講師等を招き尾道発達障害児支援フォーラムを開催し、職員も積極的に参加して理論と共に技術力の向上を図っています。
- ・管理者・園長からの講話など、組織の一員としてあるべき基本姿勢・技術力・人間力を高める研修を行っています。

## 主な行事

月	行事	月	行事
4月	・オリエンテーション	10月	
5月		11月	
6月		12月	・冬休み
7月	・夏休み ・プールでの水遊び	1月	・冬休み ・避難訓練
8月	・夏休み ・プールでの水遊び ・避難訓練 ・体験活動及び外出活動	2月	
9月		3月	・春休み ・体験活動及び外出活動 ・説明会及び契約